

## 草津市下水道事業第 8 期経営計画策定に係る審議経過

第 1 回草津市上下水道事業運営委員会（平成 2 7 年度第 4 回）	
開催日	平成 2 8 年 3 月 1 8 日（金）
審議案件	<p>下水道事業第 8 期経営計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諮問</li> <li>・ 策定方針および策定スケジュールについて</li> </ul> <p>草津市の下水道事業について 平成 2 6 年度の決算状況について 下水道事業の経営の現状について</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水幹線の整備率が近年のゲリラ豪雨を考えると低いのではないか。</li> <li>・ 下水道施設の耐震化率は？→約 30%程度</li> <li>・ 一般会計繰入金は税金であるが、総務省からの通知と交付税措置の対象であることから、税金と使用料の考え方も今後の議論すべき点である。</li> <li>・ 雨水は税金で、汚水は使用料が基本であり、分けて議論すべき。</li> <li>・ 借入金の利息が大きいため、今後の企業債の発行の動向もシミュレーションしていくべき。</li> </ul>

第 2 回草津市上下水道事業運営委員会（平成 2 8 年度第 1 回）	
開催日	平成 2 8 年 6 月 1 0 日（金）
審議案件	<p>汚水量予測について 事業計画について</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚水量の予測は、使用料および浄化センターの運転費用である流域維持管理負担金に大きな影響を及ぼす。市が所有する下水道施設には汚水量はそれほど大きく影響しないということ＝一定の維持管理費用がかかるということ。</li> <li>・ 水道水だけでなく、井戸水等の水量の把握は入っているのか。→井戸水等の利用も予測している。</li> <li>・ 不明水の対策は非常に大切である。滋賀県も含め近隣市でなくす対策をすべき。</li> <li>・ 水道ビジョンでの予測と同じく汚水量は減少傾向にある。</li> <li>・ スtockマネジメントは国交省から義務となっているので、長期見通しでの維持更新をする必要がある。</li> </ul>

第3回草津市上下水道事業運営委員会（平成28年度第2回）	
開催日	平成28年7月29日（金）
審議案件	事業計画について 財政シミュレーション（案）について 健全経営に向けて
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな新規投資は、この第8期（平成33年度）で終了し、次の第9期からは、維持更新の時期に入る節目の期かと考える。</li> <li>・不明水対策の効果が出るよう、関係市全体で取り組んでいただきたい。</li> <li>・減価償却の期間と施設の耐用年数、企業債の償還期間に大きな差がありすぎ、スケジュールが大変立てにくい。平成48年度以降は大きな投資はこないということか。→管路診断をした上でまだ老朽化は認められず大きな投資はこないと考えている。</li> <li>・湖南中部浄化センターの設備投資も今後見込まれるように思うが、負担金が増える見込みは？→現時点では県も見込めず、現状の負担金の維持に努めるとしか言えない。（県回答）</li> <li>・平成34年度以降は収益的収支が赤字となり、一般会計借入金で賄うということは、欠損が出続け、経営的にはおかしいとは思いますが、耐用年数と減価償却の差が生んでいることで、下水道事業独特の傾向と考えるしかない。</li> </ul>

副部長会	
開催日	平成28年9月12日（月）
協議案件	草津市下水道事業第8期経営計画（中間報告）
主な修正点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計繰入金の説明として、「経費の負担について一般会計からの繰入を行う」の文言が不明確</li> <li>→「一般会計が負担すべき経費について一般会計からの繰入を行う」に修正</li> <li>・右下表、繰出の内容で、「収益的収入、資本的収入」とあるが、「収益的収支、資本的収支」の方が適切ではないか</li> <li>→「収益的収支、資本的収支」に修正</li> </ul>

第4回草津市上下水道事業運営委員会（平成28年度第3回）	
開催日	平成28年10月19日（水）
審議案件	経営計画について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業債残高対事業規模比率については、他都市とも供用開始時期も条件も違うので、全国平均ではなく、草津市として目標となる数値を持つべきではないか。 →現在は、高い値となっているが、急激に減少していく見込みであり、経営計画毎に目標を持ち管理していく。</li> <li>・京都→大津→草津に転居してきたが、上下水道料金は京都に比べると高い。 →供用開始時期や地形の条件により建設費や維持費も異なることで料金体系も違ってくると思われる。</li> <li>・サービス水準の維持向上のところで、現行使用料の維持するでは、先に結論が出ている。現行使用料の維持を目標にかかる表現の方が良い。 →目標を追加し修正。</li> <li>・農業集落排水地区の接続に費用対効果が出ていることを明記しては。 →農業集落排水地区の接続の文章を修正。</li> <li>・上下水道事業運営委員会に、毎年実績の推移の報告を行うこと。</li> <li>・シミュレーションを示したグラフについて、H34～の収益的収入にかかる一般会計借入金の部分を収入に上げない方が良い。赤字と読み取れる所は、誤解を招かない表現とすること。 →補てん財源とし、収入にしないよう修正。</li> <li>・「公営企業として、経営計画毎に、一般会計との負担経費区分を行った上で、適正な下水道使用料の検討が必要です。」では、値上げを意図としているようであり、委員会としての意図ではないので、表現を検討のこと。 →現状と課題の下水道使用料体系の文章を修正。</li> <li>・結論として、下水道使用料の現行維持は、資金面の均衡を考慮していることをしっかり明記すること。 →財政計画の下水道使用料のところに明記。</li> <li>・経営計画については、公営企業の独立採算に向けての方針により計画されており、良と判断する。</li> </ul>

副部長会	
開催日	平成28年10月25日(火)
協議案件	草津市下水道事業第8期経営計画(パブリックコメント実施)
主な修正点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語集をつけるべき→用語集追加</li> <li>・第3章、農業集落排水地区の公共下水道の詳細を載せるべき →事業費を追加</li> <li>・文言の誤り→修正</li> </ul>

その他の修正	
開催日	平成28年10月26日(水)
主な修正点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申の日の確定によりスケジュールしパブリックコメント実施期間以降修正</li> <li>・第3章事業費を追加</li> <li>・文言の一部修正</li> <li>・平成29年度の管渠更新の事業費を修正 →国庫補助基準の整備が現時点で明確でないため、平成29年度は実施を見送る</li> </ul>